

どんどん変わるPaper

SUMMER 2019

Medetta!

#25



MEDETTA ISSUE:

わたしの好きな北杜市

糀のちからと自然の恵みでスキンケア



甲斐駒ヶ岳の伏流水で300年に渡り、日本酒「七賢」を醸し続ける蔵元「山梨銘醸」。

日本酒を造る際に生まれる米麹由来の天然成分「糀糖(こうじとう)」に含まれるビタミン成分に着目し、

スキンケアのセルフブランドを立ちあげた。それがCOJIEである。

美肌との関わりが深い独自天然由来成分「糀糖」と「酒粕」を凝縮させ、フリーズドライ技術を駆使することで、  
オリジナルパウダーとして粉末化することに成功した。

**COJIE** 〈コウジイ〉

〈七賢〉酒造りの技術が  
スキンケアに生きる

the power of cojie is the blessing to awaken the beauty of your skin.

 <b>COJIE</b> skin lotion — スキンローション 120mL 2,200円	 <b>COJIE</b> moisture gel — モイスチャージェル 60g 2,800円	 <b>COJIE</b> essential mask — エッセンシャルマスク 20mL × 3枚入り 480円	 <b>COJIE</b> essential mask — エッセンシャルマスク 20mL × 3枚入り 1,200円
--	--	---	---

お酒を醸造する段階で必ず出る酒粕を有効利用できないか? というところから商品開発はスタートした。蔵元で使っている伏流水、県産で作られた酒米、いい素材を使って仕込まれた酒から出た糀は姿を変え、スキンケア化粧品として生まれ変わった。七賢の女性スタッフたちの意見を取り入れつつ試作され、3月の蔵開きの際には専用のブースが開設され、来たお客様に試してもらったという。ローション、ジェルは肌にハリとうるおいを与える、マスクは必要なときにお手軽にスキンケアできるのが魅力だ。女性に限らず男性にもオススメ。蔵を訪れる人たちの中でも、美意識の高い人や、コスメに興味のある層から評判で、海外、特にアジア圏からの訪日観光客の人たちもお土産にと購入していく人が多いという。

お酒から生まれたCOJIEは百貨店やホテルなど現在販路を拡大中。県産のお米、糀糖と伏流水を使い、最新の技術でスキンケアコスメとして生まれ変わったCOJIEには自然の恵みが凝縮されている。300年以上の酒造りの伝統とモダンな感性が融合したCOJIEでお肌にハリとうるおいを。余計なものを削ぎ落とした商品は、見た目にも美しい。

山梨銘醸株式会社 山梨県北杜市白州町台ヶ原2283 TEL: 0551-35-2236(代) <https://www.sake-shichiken.co.jp>